

平成28年度 佐渡市総合学習部 活動報告

部長 猪股 快門

1 「佐渡学」の推進のために

佐渡市では「佐渡市学校教育基本構想」を定め、「佐渡学」を推進している。「佐渡学」では、「佐渡の自然、文化、歴史を学ぶことで、郷土を愛し、夢と誇りをもつ子どもの育成」を目指している。

佐渡市の総合学習部の部員の多くは、佐渡での勤務経験が少ない若手の教員が多い。そのため、佐渡の自然、文化、歴史に知見がないことに不安をもつ部員が多かった。そこで、今年度の佐渡市総合学習部では、「佐渡を知る」ということをテーマにして、「各校の取組を知る」「専門家から佐渡を学ぶ」、という2つの取組を行った。

2 研修会について

(1) 各校の取組から学ぶ

所属部員の学校（16校）の年間指導計画を持ち寄った。そこで各校の特色ある取り組みについて、各部員から発表してもらった。また、悩みを抱える部員には、各人からアドバイスや資料の提示などを行い、2学期以降にスムーズな総合の学習が進められるように支援した。

- ・修学旅行を地域貢献型活動と関連させる取組
- ・鬼太鼓を地域と密接に関連しながら学習を進める取組 など

(2) 講演会

＜ゲスト＞ 佐渡市世界遺産推進課文化財室 室長 野口 敏樹 様

＜テーマ＞ 「佐渡の学校における総合授業へのワンポイントアドバイス

～地域を生かした豊かな学びを創ろう！～

佐渡の多くの学校で取り組まれている総合の単元に「鬼太鼓」と「お祭」がある。そこで、上記の2つについて教える私たち自身が深く学ぶ場をもった。

★鬼太鼓・お祭について

- ア 鬼太鼓はいつから始まったか
- イ 鬼太鼓とお祭りの意味
- ウ 鬼面について

また、今後、総合に生かせる題材として、身近なところに存在する「石仏」について説明して頂いた。

★佐渡の石仏にみる民間信仰

- ア 佐渡石仏の魅力 イ 石仏・石塔の調査研究（戦後）ウ 石仏の主な靈場など



3 課題

今年度は、授業研究会を実施することはできなかった。来年度は、ぜひとも実施していきたい。また、部会を複数回もつことが難しかった。年度初めから計画をしっかりと立て、魅力的な部会を開催できるようにしたい。現在、小学校での学習の重点が国語、算数に置かれている現状がある。しかし、「佐渡だから学べること」、「佐渡だからできること」がこの島にはある。総合的な学習の時間が「佐渡学」を深める時間となるように、今後より一層研修を深めていかなければならない。